

第 40 回歴史地震研究会 総会議事録

日時：2023 年 9 月 2 日（土） 13:10～14:20

場所：小田原三の丸ホール

■定足数確認（大邑総務委員長）

歴史地震研究会会則第 20 条により、総会は会員の 10 分の 1 の出席を要すると定められている。現在の会員数 246 名、総会参加会員数は 65 名、委任状提出 17 名(代理人を議長とするもの 14 件、会長とするもの 3 件)で定足数を満たし、総会は成立する。

■松浦律子会長挨拶

■議長選出

山中佳子会員を議長に推薦。山中佳子会員が議長に選出され議長が進行を務める。

第一号議案 2022 年度事業報告および決算報告

1. 2022 年度事業報告

(1) 研究成果発表会および講演会

①第 39 回歴史地震研究会（高槻大会）の開催について（代理：大邑総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)①により説明。

②第 39 回歴史地震研究会（小田原大会）の開催準備について（万年行事委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)②により説明。

(2) 会誌の刊行について（加納編集出版委員長）

総会資料第一号議案 1.(2)により、『歴史地震』第 38 号を 2023 年 7 月に発行したことについて説明。

(3) 広報活動について（代理：大邑総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(3)により、ホームページの運用・更新、研究大会の関係学協会への周知、メーリングリストの管理について説明。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰について（大邑総務委員長）

都司嘉宣会員に功績賞を授与することを幹事会で決定し、2023 年 9 月 1 日に授賞式を行ったことを総会資料第一号議案 1.(4)により説明。

(5) その他（大邑総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(5)により、研究会の各事業を行うために、大会中の総会 1 回と幹事会 5 回を行ったこと、および社会貢献活動として国土地理院の夏休み向け企画展示「関東大震災 100 年 -地図に残る地殻変動と被災状況-」に協力したことを説明。

2. 2022 年度決算報告

(1) 2022 年度決算報告について（諸井財政委員長）

総会資料第一号議案 2 および説明資料の 2022 年度会計監査報告書、会員の現況及び会費受取状況により、2022 年度の収入と支出、高槻大会の収支について報告。

(2)会計監査報告（中村監査役、植竹監査役）

2022年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した旨報告。

歴史地震研究会 2022年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2022年度会費	1,016,000	1,012,000	▲ 4,000	4000円×253名
	2021年度会費	0	24,000	24,000	4000円×6名
	2020年度以前会費	0	16,000	16,000	4000円×4名
	2023年度会費	0	100,000	100,000	4000円×25名
	2024年度会費	0	4,000	4,000	4000円×1名
	会誌バックナンバー代	0	13,270	13,270	会誌6部・要旨集3部
	会誌口絵代・超過頁代	0	23,000	23,000	口絵×1
	2022年度高槻大会剰余金	0	32,602	32,602	
	寄付他の収入	0	8,887	8,887	学術著作権協会より
	前年度繰越	3,569,558	3,569,558	0	
合計	4,585,558	4,803,317	217,759		

支出	2022年度高槻大会関係費	100,000	0	▲ 100,000	剰余金のみ
	次年度以降大会準備費	150,000	4,128	▲ 145,872	小田原会場視察旅費
	苫小牧講演会経費	150,000	75,305	▲ 74,695	旅費・会場費
	歴史地震38号印刷・発送代	810,000	862,444	52,444	450部
	歴史地震編集費	25,000	5,000	▲ 20,000	査読料
	HP管理費	10,000	9,385	▲ 615	
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	功績賞関連費	100,000	0	▲ 100,000	該当者なし
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	10,870	▲ 19,130	資料送付料・他
	合計	1,575,000	967,132	▲ 607,868	

次年度繰越金	3,010,558	3,836,185	825,627	
--------	-----------	-----------	---------	--

〈第一号議案についての質疑〉

質疑：会誌は海外(特に中国・韓国など)にも送られているのか？

応答：日本語の資料を収集している機関に送っているものが1件あるが、海外の研究機関や大学図書館への送付は行っていない。(堀川副会長)

質疑：日本の大学図書館などには送っているのか。何件くらいか。

応答：希望する日本の大学図書館および自治体図書館などに本年度は123件送付している。

(議長) 第一号議案 2022年度事業報告および決算報告の承認

拍手により第一号議案 2022年度事業報告および決算報告を承認

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 2 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、佐竹健治会員から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 佐竹健治会員の次期会長就任の承認
拍手により佐竹健治会員の会長就任を承認

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 4 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、現監査役である植竹富一会員および諸井孝文会員を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 植竹富一会員と諸井孝文会員の次期監査役就任の承認
拍手により植竹富一会員と諸井孝文会員の監査役就任を承認

■新会長挨拶と役員指名

佐竹健治次期会長より挨拶。2023 年度の役員は、副会長に蝦名裕一会員（新規）、幹事は総務委員長に大邑潤三会員（継続）、財政委員長に石辺岳男氏（新規）、広報委員長に室谷智子氏（継続）、行事委員長に松浦律子会員（新任）、編集出版委員長に加納靖之会員（継続）を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を迫って指名する。

■各新幹事・監査役より挨拶

第四号議案 2023 年度事業計画および予算案

1. 2023 年度事業計画案

(1)研究成果発表会および講演会

- ①第 40 回歴史地震研究会（小田原大会）を小田原三の丸ホール（小ホール）において開催中である。
- ②2024 年第 41 回大会を長野県木曾町で開催するため準備を行う。(松浦新行事委員長)
- ③2025 年第 42 回大会の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。(大邑総務委員長)

(2)会誌の刊行（加納編集出版委員長）

総会資料第四号議案 1.(2)により、会誌『歴史地震』第 39 号を 2024 年 7 月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて説明。

(3)広報活動（代理：大邑総務委員長）

総会資料第四号議案 1.(3)により、ホームページと会員メーリングリストおよび musha の運営管理を引き続き行うこと、および会員向けメーリングリストへの登録呼びかけを説明。

(4)歴史地震研究に関する業績の表彰（大邑総務委員長）

総会資料第四号議案 1.(4)により、歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨を説明。

(5)その他（大邑総務委員長）

会の運営のため総会および年間5回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第四号議案 1.(5)により説明。

2. 2023 年度予算案（諸井財政委員長）

総会資料第四号議案 2 により 2023 年度予算案について説明。

〈第四号議案についての質疑〉

質疑・応答なし

（議長）第四号議案 2023 年度事業計画および予算案の承認

拍手により 2023 年度事業計画および予算案を承認

■議長解任

■閉会